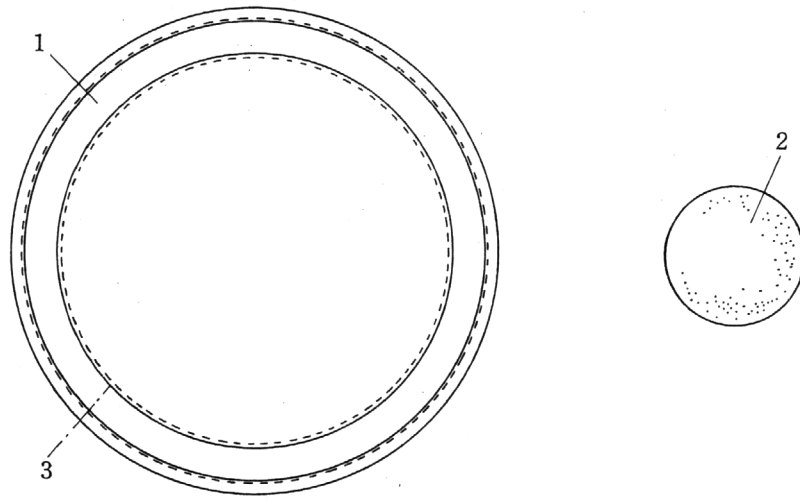
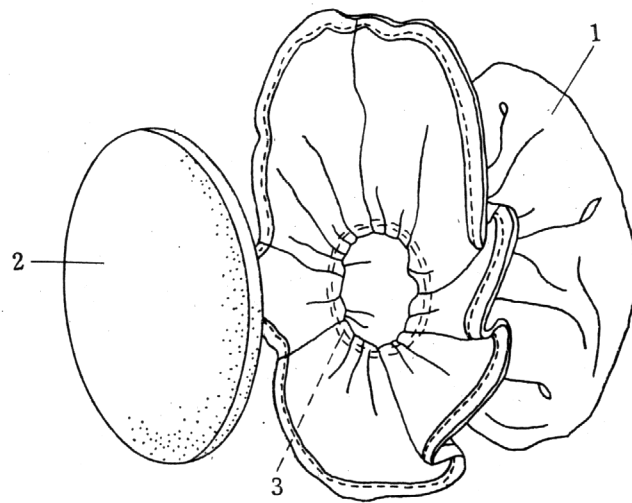


第1図



第2図



実用新案公報

実用新案出願公告 昭五二一五八八八

公 告 昭和五二年（一九七七）二月七日

ノブ飾り

実 願 昭四八一四五七二六

出 願 昭四八（一九七三）四月一七日

公 開 昭四九一四七八六一

昭四九（一九七四）二月二〇日

考 案 者 植田泰市

横浜市南区吉野町一の三の四

出 願 人 株式会社富士

同所

代 理 人 弁理士 秋元輝雄 外一名

実用新案登録請求の範囲

円板状の布と、この布のほぼ中央の裏側に固定されしかも装着しようとするノブがほぼ覆える大きさのウレタンホームと、前記布の一定半径上でしかもノブを完全に包み込める位置にリング状に設けられて布を絞るゴムとを有し、前記ウレタンホームが設けられている布の面を内側としてノブを包むようにしたことを特徴とするノブ飾り。

考案の詳細な説明

本考案は、ドアのノブおよび自動車のチェンジレバーに設けられているノブを覆うノブ飾りに関するものである。

例えばドアのノブは、金属によつてボール状に形成されているものであり、このノブを回転させることによつてドアのロック

が外され、またこのノブを引くことによつてドアが開かれるものである。

しかし、このようなノブは前述したように、一般に金属によつて作られているために、冬期および朝夕等に於いてはこのノブが冷たく、ドアの開閉時に不快感が生ずる。また、このノブはただの球状物であるために、美観的にもあまり優れていなかった。更にこのドアノブは、前述したように金属によつて作られているために、ドアを開けすぎた場合等には、このノブが壁あるいは家具に接触してこれらに傷を付けることがしばしばあった。

従つて、本考案による目的は、ノブを覆うことによりノブの快よい握り感が得られるノブ飾りを提供することにある。

本考案による他の目的は、ノブの装飾効果が得られるノブ飾りに関するものである。

本考案による更に他の目的は、ノブが壁および家具等に接触した場合に傷が生じないようにしたノブ飾りに提供することにある。このような目的を達成するために、本考案によるために、本考案によるノブ飾りは、円状に切断された布の少なくとも裏側のほぼ中央部に設けられ、ノブと前記布との間に摩擦抵抗を得るためのウレタンを設け、更に前記布のノブが包み込める半径位置にこの布を絞るようにゴムをリング状に固定したものである。以下図面を用いて本考案によるノブ飾りを詳細に説明する。

第1図は本考案によるノブ飾りの一実施例を示すものであり、特にノブ飾りを平面状に強制的に広げた場合における裏側、つまりノブと接する側を示したものである。このノブ飾りは、表面に室内装飾に適した模様を有する円板状の布1を有しその裏側、つまりノブと接する側の面でしかも少なくともその中央部には、ノブをほぼ包み込める大きさのウレタンホーム2が固定されている。またこのウレタンホーム2の外側でしかもノブを完全に包み込める位置の布1上には、この布1がノブを包み込んで絞るためのゴム3がリング状に縫い付けられている。更に布1の周辺には、装飾効果を上げるためのレース4が設けられている。

このように構成されたノブ飾りを手から離すとゴム3を有する布1の部分が絞り込まれるために第2図に示すようにテルテルポーズ状になり、外側は布1の模様のみが表われる。なおこの場合、第2図に示すようにゴムによつて絞られた部分にボール状のリボン5等を設ければ更に装飾効果が増える。

次に、上記構成によるノブ飾りをドアノブに取り付ける場合について説明する。第2図に示すように、ゴムによつて絞られて

いるノブ飾りを強制的に広げた後、第3図に示すようにドア6に設けられているドアノブ7にかぶせて放す。このようにすると、ノブ飾りは第3図に示すようにドアノブ7を完全に包み、ドアノブ7の軸8の部分で絞り込んだ状態となつてドアノブを覆う。

このような状態において、ノブ飾りの外側からドアノブを握ると、布1およびその内側に設けられているウレタンホームによつて断熱されるとともに、柔らかい手ごたえを与えるためにドアノブを握つた感じが極めて良くなる。次にドアノブを回転させてロックを外そうとすると、布1とドアノブ7の間にはウレタンホームが介在しているために、両者間に大きな摩擦が得られ、ドアノブ7を容易に回転させることができる。またこの場合、布1の内側に配置されているウレタンホーム2は、ドアノブ7の外周をほぼ取り囲むように配置されているために、ドア6の開けすぎによつてドアノブ7が例えば家具に接しても、このドアノブ7を覆っているノブ飾りのウレタンホームが緩衝物となつて傷が生じない。また、近年室内装飾が盛んに行なわれるようになってきたが、ドアノブ等は装飾が極めて困難であるために、このようなノブ飾りを用いれば、ワンポイント的な装飾効果および実用的効果が同時に得られる。

なお、上述した実施例においては、ドアノブに用いた場合のノブ飾りについてのみ説明したが、自動車のチェンジレバーの頭に設けられているノブ等のような種々ノブに用いた場合に於いても同様な効果が得られるものである。

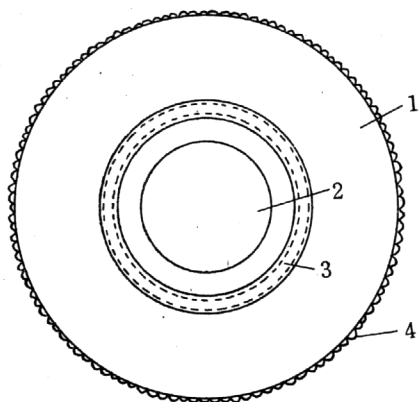
以上説明したように、本考案によるノブ飾りによれば、高い装飾効果およびノブの良い握り感が得られるとともに、ノブと他の物品が接した場合に於ける傷の発生を防止することができる種々の優れた効果を有する。

図面の簡単な説明

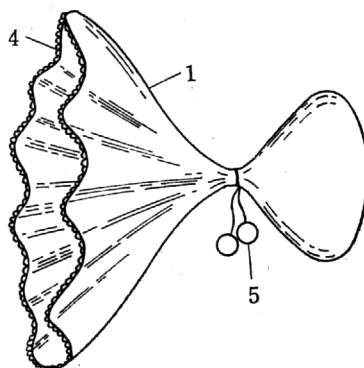
第1図は本考案によるノブ飾りを開いた場合の一実施例を示す平面図、第2図は本考案によるノブ飾りの側面図、第3図は第1図に示すノブ飾りをドアノブに装着した場合の一例を示す側面図である。

1……布、2……ウレタンホーム、3……ゴム、4……レース、5……リボン、6……ドア、7……ドアノブ、8……軸。

第1図



第2図



第3図

